



テクニカル&ヒューマンスキル / 半日研修

New

不祥事を起こさない職場を作る！ コンプライアンス研修

▶ 本研修の概要とねらい

- ①コンプライアンス遵守の重要性を再確認する。
- ②自組織のコンプライアンスに関する方針や体制について確認し、職員として果たすべき役割について再認識する。
- ③ケーススタディを通じて、各種事案での論点、求められる対応方法、不適切な行為等がなされた場合の処分内容、関係法令等を確認する。
- ④不祥事を起こさない職場づくりのポイントを学ぶ。

▶ 主なコンテンツ

全国自治体での不祥事の現状(種類別にデータで確認)、不祥事による甚大な影響(本人への影響=刑事・民事・行政的・社会的制裁、被害者への影響、組織への影響)、コンプライアンスに関する方針・体制、ケーススタディ(詳細は裏面カリキュラム案をご参照ください)

▶ 演習/実習の内容

- ・各コンテンツに沿った個人&グループワーク
- ・ケーススタディ

▶ 受講対象(推奨)

全職員

▶ 講師からの一言

行政として住民からの信頼を築くには長い時間がかかりますが、信頼を失うのは一瞬です。

そして地に堕ちた信頼を回復することは並大抵ではありません。不祥事などのコンプライアンス違反は絶対に防ぐ必要があります。そのために、整備すべき方針・体制は何か、日常の業務遂行において留意すべきポイントは何か、非違行為等への処分はどのようなものか、押さえておくべき関連法令等は何か、などについて、具体のケーススタディ(陥りやすい、あるいは、判断に迷う事案を精選)を交えて、実践的に学習しましょう。



一般社団法人 日本経営協会講師
豊島英明(とよしまひであき)

1988年度神戸市役所入庁。住宅局(経理)、市長室(報道・ラジオ番組)、神戸港埠頭公社(経理・企業誘致)、行財政局(経営品質・行政評価)、北区役所まちづくり推進課長、職員研修所長、市長室国際課長、みなど総局企業誘致担当部長を経て、2018年度早期退職。

自ら講師となり自治体に経営品質の考え方を普及するため起業し、合同会社創発研修ラボ豊島屋を2019年設立(経営品質協議会認定セルフアッセサー資格取得)。神戸学院大学客員教授、早稲田大学招聘研究員。

著書に、『行政経営改革入門』『政策評価手法』『自治体バランス・スコアカード』『自治体職員がみたイギリス』『行政の質を高める8つの基準』など。

神戸市在職中の講師歴として、同志社大学社会人大学院非常勤講師、全国自治体・民間企業など多数。

【出講実績】

大阪府市町村振興協会、滋賀県市町村職員研修センター、和歌山県市町村職員研修協議会、香川県市町村振興協会、徳島県自治研修センター、徳島県、高知県、京都市、堺市、和歌山市、倉敷市、福山市、丸亀市、南丹市、斑鳩町、株式会社OMこうべ(神戸市外郭団体)

不祥事を起こさない職場を作る！ コンプライアンス研修

— 半日研修カリキュラム案 —

講義テーマ	主なコンテンツ
はじめに	
【1】全国自治体の不祥事の現状 <ul style="list-style-type: none">・懲戒処分 の 状況・汚職事件 の 状況	☞ 不祥事に関する全国自治体の現況を確認することで、コンプライアンスの重要性を再認識する。
【2】不祥事による甚大な影響 <ul style="list-style-type: none">・本人への影響 (民事上の制裁・刑事上の制裁・ 行政上の制裁・社会的な制裁)・被害者への影響・組織への影響	☞ 不祥事が起きた際に発生する影響について、「不祥事を起こした本人」「被害者」「本人が属する組織」の3つの視点から考える。各種制裁等の内容も詳解し、影響の「甚大さ」を具体的に理解する。
【3】方針・体制・役割 <ul style="list-style-type: none">・コンプライアンス基本方針・コンプライアンス推進体制・職員が果たすべき役割	☞ 貴団体における、コンプライアンスに関する基本方針や、推進体制について確認し、職員として自身が果たすべき役割について考える。
【4】ケーススタディ <ol style="list-style-type: none">①住民の疑惑を招く行為の禁止②交通法規の遵守③個人情報の保護④公金の適切な取扱い⑤内部統制に関する方針策定・体制整備	☞ 不祥事などコンプライアンスに関するケーススタディを通して、以下の3点について考える。 <ol style="list-style-type: none">①自分がケースに登場する職員ならどうするか②不適切な行動をとれば、どんな処分がされるのか③関係法令等は何か →コンプライアンスの観点から判断に迷う事態が起きた際の対応方法や、不祥事を起こさない職場づくりのポイントについて、具体の事案に即したワークと解説を通じて学ぶ。
※事例はご要望に応じて変更可能です。	
まとめ	

■ 本研修を受講した研修生の感想

- ☞ コンプライアンスに関する基本的な内容からケーススタディを用いての演習まで、バランスよく学ぶことができました。
- ☞ ケーススタディの各事案は本当に悩ましくて迷いましたが、感覚や直感で安易に判断せず関連法令等の一つひとつ確認することの大切さを再確認できました。

■ 本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ☞ 神戸市役所在籍時代の行政経験(コンプライアンスを含む職員研修等を担当)に加え、専門分野(法律専攻)の知見も活用しながら、わかりやすい解説と豊富な事例紹介で、実践的理解が深まります。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>